

Q1:不凍液とはなんですか？

A1:寒冷地で使用する凍結しない液体です。尚、機器や配管やパネルを長持ちさせるため、防錆剤や抗酸化剤なども添加してあります。

Q2:なぜ不凍液交換をしなければならないのですか？

A2:配管や機器内部がサビないようにコーティングする効果が無くなってしまうので、効果を復活させます。

Q3:パネルヒーターを使用しない期間、サーモバルブは閉じたままにする？

A3:サーモバルブは全開にするのが正しいです。サーモバルブのピンの固着を防ぐためです。

Q4:不凍液を交換しないと、暖房が使えなくなりますか？

A4:不凍液が劣化しても、暖房は使えますが、暖房機器本体・配管がいたみやすくなり、配管の詰まりや錆が発生してしまい、配管取替工事や暖房機器自体の取替が発生し、余計な出費がかさむ可能性があります。

Q5:温まらないパネルがあるのですが不凍液交換すると温まるようになりますか。

A5:パネルが温まらないのにはいくつか理由があります。
配管内の圧力が弱まっていたり、パネルの中で空気が溜まってしまっている場合があります。不凍液交換の際には圧力の確認、空気抜き作業もしっかり行いますので安心してください。パネルが詰まってしまっている場合はパネル交換をしないと改善されない場合もあります。

Q6:作業時間はどのくらいかかるのですか？

A6:不凍液の量によっても違いますが、概ね作業には半日必要となります。

Q7: 不凍液の交換時期はどのくらいですか？

A7: 交換サイクルの推奨はメーカーにより違いがあり、3～4年となっておりますが、当社では4～5年での交換をお奨めしています。

Q8: 不凍液を自分で交換することは出来ませんか？

A8: 不凍液自体をネットなどで購入することは出来ますが、不凍液には品質に違いがあるので混ぜることは出来ません。その為配管内の不凍液をすべて抜き取り入れ替える作業が必要となります。不凍液の交換には専用の道具が必要ですので、非常に難しいです。

Q9: 電気ボイラーなのですが、試運転を行った場合電気代はどうなりますか？

A9: 電気の契約内容により暖房用メーターの基本料金がかかる場合があります。その場合は、シーズンの終わりか、シーズンの始めに交換作業を行うことをお奨めします。

Q10: 費用はいくらぐらいかかりますか？

A10: 熱源機の種類、パネルの枚数などにもよりますので当社までお電話ください。

Q11: 熱源機を設置した建設会社がわかりません。

A11: 安心して下さい。当社が直接ご対応させていただきます。

Q12: 給湯ボイラーの調子が悪いのですが不凍液交換以外の工事も出来ますか。

A12: 対応しております。当社にご連絡お待ちしております。

まとめ

お客様からよくお問い合わせを頂く内容をまとめました。

不凍液とは読んで字の如く凍らない液体です。また不凍液には防錆剤や抗酸化剤が添加されています。これらの添加剤は経年劣化しますので、古くなった不凍液を使い続けると金属の腐食や不凍液が酸化して配管や暖房パネル、熱源機本体に腐食が起こり配管やパネルに穴があいて液漏れなどの故障の原因になります。また、不凍液が温められたり冷やされたりすることで不凍液の濃度が高まり循環ポンプに負荷がかかったり、熱源機の過熱にもつながります。熱効率も低下して燃費も悪くなることがあります。

お客様の中には今まで交換しなくても問題なかったから大丈夫と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

実際、当社が施工させて頂いたお客様の中には10年以上不凍液交換をしなくても問題なく使用されている方もいらっしゃいます。

しかし、不凍液の劣化が原因で配管に穴があいてしまい大掛かりな工事が必要になってしまったお客様も実際いらっしゃいます。

以上のことを総合的に判断し、当社では4年から5年での不凍液交換をお勧めしております。

お客様からよくお問い合わせを頂く内容を掲載しましたが、この他にも疑問点があればお気軽に当社までご相談下さい。